

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 40

平成19年7月19日

情報教育アドバイザー

広田 さち子

閉じる

ウィンドウを閉じるとき、どうやりますか？

もっとも一般的にされていることは、ウィンドウの右上の「閉じるボタン」(通称バツ)をクリックすることだと思います。

実は、一般的にウィンドウを閉じる方法は、7つあります。

- ×(閉じる)ボタンをクリック
- ファイル → 終了(X)とクリック(または、Alt → F → X)
- タイトルバーの左端のアプリケーションマークをクリックして、出てきたメニューから「閉じる」をクリック
- Alt + F4
- タイトルバー左端のアプリケーションマークをダブルクリック
- タイトルバーを右クリックして、出てきたメニューから「閉じる」をクリック

ワードの場合は、唯一、メニューのファイルから閉じる方法だけが、すべての開いているファイルを一度に閉じることができます。これ以外は、一つずつしか閉じることができません。

この中で、キーボードを使う方法が二つあります。

マウスを使うとき、まず、手をマウスに置き、ポインタ(矢印など)が画面のどこにあるか確認し、そのポインタを目的の場所に正確に置き、その位置を動かさずにクリックしたりダブルクリックしたりする、という、けっこう技術のいる操作をしなくてはなりません。

一方、キーボードでは、Altキーから順にキーを押す方法では、技術は何も要りません。Alt+F4 では、F4を押すときにAltを離してはいけない、という点を注意さえすればできます。ストレスの少ない方法です。

また、アプリケーションマークを使う方法では、ウィンドウが画面の右端からはみ出でていて、閉じるボタン(×)が見えないときでも使うことができます。

このように、何かをする方法は一つではないことがパソコンではよくあります。自分で一番使いやすい方法を見つけることができればいいですね。

ちなみに、何もアプリケーションを起動していない状態で Alt+F4 を押すと、Windows の終了画面を出すことができます。